

令和7年度福井市未来へつなげるバス路線最適化実証事業業務
に係る公募型プロポーザル審査基準

1 基本的な考え方

- (1) 企画提案内容等の合計点が最も高い提案者を、受託候補者とする。
- (2) 受託候補者と優先的に契約交渉を行うこととし、契約協議が整わなかった場合は、次点者と契約交渉を行う。
- (3) 100点中60点を最低基準点と定め、最低基準点に満たない場合は契約交渉の候補者としない。

2 審査の方法

- (1) 審査委員会は、下記の審査基準に基づき、審査を行う。
- (2) 各審査委員は、プレゼンテーション毎に採点を行う。
- (3) 各提案者の合計点は、各審査委員の採点の合計を、審査委員数で除したものであるとする。
- (4) 同点の場合は、審査委員会の協議により、受託候補者と次点者を決定する。

3 審査基準

審査項目の配点は次のとおりとする。

審査項目			点数
業務遂行能力	業務理解度	・提案内容が、参加事業者が過去に実施している類似業務の実績を踏まえ、福井市が求める業務目的や内容に沿った提案となっているか。 ・福井市の都市計画等に即した提案内容になっているか。 ・福井市の交通状況を踏まえ、効果的な提案内容となっているか。なお、地域公共交通網再編案については、福井市における現状分析・課題整理、アンケート調査、地域でのワークショップを踏まえたうえで、提案することとする。	30
	業務実施体制	・業務体制が具体的に示されており、業務を適切に実施するために必要な知識・経験等を有する職員等の配置体制が確保されているか。 ・提案内容を確実に実施するため、本事業を遂行するための専属担当者等の配置体制が確保されているか。	15
	スケジュール	・本業務の目的達成のために適切な実施手順が示されているか。 ・仕様書の内容を踏まえ、各業務の準備、実施が可能なスケジュールとなっているか。	5
	独自性	・過去の実績、ノウハウ、他事例等を踏まえ、本業務の目的を達成するための革新的な独自提案であるか。	15

実証運行事業	システムの利便性及び拡張性	・AI等の最新技術を活用し、利用者、運行事業者及び市のいずれにとっても効率的かつ利便性の高いシステムであるか。 ・運行計画や停留所の追加・削除等の各種設定の変更に柔軟に対応し、地域公共交通網再編案後の変化を想定したシステムが設定できるか。	10
	事業支援	・システムの導入及び構築のみならず、オンデマンド交通実証実験に係る進捗管理、地域及び運行事業者との各種調整、利用促進、地域住民を対象にした説明会開催、実績データの分析などを、積極的かつ効果的に支援する提案であるか。	10
経費	業務経費	・コストパフォーマンスに優れ、必要となる経費・費目を過不足なく考慮し、適正な積算が行われているか。	15
合計			100

4 採点基準

評価	優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている
配点5	5点	4点	3点	2点	1点
配点10	10点	8点	6点	4点	2点
配点15	15点	12点	9点	6点	3点
配点30	30点	24点	18点	12点	6点